

2016年3月15日

ニュースリリース

第20回 神戸国際宝飾展 IJK

5月11日(水)から いよいよ開催！

いよいよ開催20年目を迎える IJK が5月11日（水）から13日（金）までの3日間、神戸国際展示場にて盛大に開催される。IJK は、1997年に神戸大震災からの復興と、真珠・ジュエリー業界の発展を目的にスタートした。その後、SARS、リーマンショックなど様々な困難を乗り越え、現在では日本およびアジアを代表する国際展に成長した。

昨年比80社増 570社が出展

第20回 IJK には、世界15カ国（イタリア、ドイツ、スリランカ、インド、香港、中国、台湾など）から、昨年を上回る570社が出展する。会場は、各商材ごとに出展ゾーンが分かれており、ジュエリーゾーンには、ダイヤモンド・ファインジュエリー・デザイナーズジュエリーなどを扱うメーカー・卸280社が出展。パールゾーンには75社、ジェムストーンゾーンには120社、昨年から設置しているリ・ジュエリーゾーンには95社が出展し、バイヤーにとっては仕入の場として充実した内容となっている。

こうした中、今回の見どころは、1つ目は、トレンド商品など60万点の出品である。夏向けの最新ジュエリーに加え、「エスニック」「ロマンティック」「70年代」など今季の流行を反映した、新鮮さを感じさせるジュエリーが多数出品される。2つ目は、ラグジュアリー商品。今年1月に東京ビッグサイトで開催した I J T 2016 でも、技巧を駆使したラグジュアリー商品は、よく売れていた。そうした背景から、出展各社は、高額ジュエリーの制作や在庫を充実させ、IJKに臨んでいる。3つ目は、催事企画が多数あること。小売店にとっては、自店への集客は成否の要である。DMチラシの工夫から催事販売の演出まで、「集客と販売」への企画提案に力を入れた出展が急増している。小売店の皆様は、是非見逃さないでほしい。

1.2万人超の有力バイヤーがアジア中から来場

近年、IJKには質の高い日本製ジュエリー（メイドインジャパン）や素材を求め、中国・香港・台湾・韓国・インドをはじめ、アジア中から有力バイヤーの来場が増加している。2014年には815名だった海外バイヤーは、今回2016年には1,300名以上の来場が見込まれている。その

内、主催者のリード社がホテル宿泊など様々な特典を用意して特別招待する超有力バイヤーの数は750名となる。リード社にとっては大きな出費であるが、出展社の輸出促進、宝飾業界の国際化に貢献できると決断し実行している。特別招待された海外バイヤーの会期中仕入れ額は35億円と予想されており、昨年実績30.4億円を大きく上回る。*昨年は688名が特別招待

その一方で国内バイヤーも、昨年を上回る11,000名が来場する。20年間の開催実績により、日本の宝飾業界の中でIJKが西日本最大の商談展として完全に定着していることに加え、ここ数年で、アパレル・セレクトショップ、通販・ネットショップといった宝飾関連業者の来場が増加しているからだ。また、主催者リード社が開設する、購買力の高いバイヤーで構成される「プレミアムバイヤークラブ」への入会者は3,000名を超えており、来場者数の増加だけでなく、会期中の仕入れ額も増加する見込みとなっている。本クラブの会員は、IJK会期中の仕入れ額に応じてポイントが付与され、一定のポイントが貯まると、ホテル宿泊の無料券やレストラン利用権など様々な特典と引き換えることができる。リード社によると、プレミアムバイヤークラブ会員は、年々増加しており、今回のIJKでも多数の会員バイヤーが、IJKでの仕入れを計画しているとのこと。これらの事からも、IJKでの活発な商談、そして業界の活性化が期待される。

IJK20周年記念 特別講演

IJKでは、開催20周年を記念して、2つの大講演を実施する。

1つは「成熟した国内市場の中で、どうやって売上を伸ばしていくのか」といった業界全体が直面している課題に対して、日本を代表する小売チェーン店であるサダマツの貞松社長と、ストーンマーケットの中村社長の二人が「持続的な成長を続ける変革とは」と題して開催する講演だ。

そしてもう1つは、海外マーケットをテーマにした講演である。“爆買い”といった日本のバブル期を彷彿させる中国経済の成長も、落ち着きを見せている昨今、今後10年の中国ジュエリー市場の動向は、多くの日本メーカー・卸企業が注目している。そこで今回は、中国・深圳で有力な高級ジュエリー卸であるTTFのウ社長が「中国ラグジュアリー市場の動向」を講演する。加えて、中国全土で最も影響力のある宝飾WEBサイトである21Gemの最高執行責任者ファン氏が「まだまだ伸びる、中国の輸入市場」を講演する。

2つの講演会は、聴講無料だが、定員になり次第申込が締め切りとなる。お申込みはIJKのホームページ (URL: WWW.IJK-fair.jp) から。